



徳島市民憲章

わが徳島市は、美しい眉山の緑と清らかな吉野川の流れに恵まれ、輝かしい伝統と限りない発展性をもった都市です。

わたしたちは、徳島市民であることに誇りと責任をもち、郷土の繁栄とおたがいの幸福をきずくために、みんなで力を合わせ、みんなで行くべき生活のよりどころとして、この憲章を定めます。

- 1 わたしたちは、まごころをもって助け合い、すべての人に親切にしましょう。
- 1 わたしたちは、健康で仕事に励み、明るく楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 わたしたちは、協同生活のきまりを守り、平和で安全な社会をきずきましょう。
- 1 わたしたちは、自然や公共物をたいせつにし、美しい町づくりに努めましょう。
- 1 わたしたちは、豊かな教養を身につけ、すぐれた文化を創造しましょう。

昭和43年10月1日制定



『プロ野球の二軍選手』

不動公民館長 岸岡俊憲

プロ野球も現在シーズンオフで、各球団とも来年度にそなえて、いろいろ準備しているようです。野球があった時、私もたまにテレビで観戦しました。活躍している選手は花形です。何名かの選手は顔を見ただけ

で、その名前、ポジションが浮かびます。然しふと、そのかげに放映されない二軍選手を思い出さずには居られません。

私はプロ野球のことはあまり知りませんが、一軍選手と、二軍選手について調



人口男子	1,732
女子	1,849
計	3,581
世帯数	1,356
平成11年12月1日現在	

館 憲
者 俊
民 岡
公 任
行 者
動 責
不 任
岸 岡
印 刷
グランド印刷(株)

べてみました。一軍の選手は二十五名で試合があるとどこかのネットワークでテレビ放映されています。二軍の選手は三十五名でテレビの画面にはほとんど登場しません。日本の各地をまわり試合をしたり又猛練習をして、この人達は何時かは一軍入りを夢見ているようです。二軍選手とは言えかつては日本各地で活躍した有名選手ですし、なかには高校野球で甲子園で名をあげた優秀選手も居ります。然しこの二軍選手から一軍選手に上がるのは毎年わずか五ないし六名だそうです。残りの三十名前後の人達は一度も一軍のグラウンドを踏むことなく、勿論テレビの画面にも映らないで淋しく去っていくのです。この選手達も各球団に入団した頃は自分こそは日本一の有名選手を全員めざしていたことでしょう。又当初はプロ野球入団出来ただけでも光栄に思ったにちがありません。

それではどんな選手が一軍入りするか私なりに考えてみました。各人の素質もあるようですが、かつて立派に活躍した人達ばかりです。まず目標をきめこの目標に向かって努力に努力を重ねていく人、そして他の選手よりもやる気十分な人達が一軍入りを果たしているようです。私はたまたまテレビでかつて日本のオリオンピック代表の男子体操選手が金メダルを獲得するためにみなみならぬ努力をしている姿を見ました。題は『とまれ。鳥のように。新ウルトラCの誕生』。新しいウルトラCを生むための目標、そしてこれを達成するための毎日の猛練習、このたゆまない気迫と精神力、その上での練習この三拍子が揃ったときに初めて新しいウルトラCが生まれるのです。私は丁度二軍選手から一軍選手入りをするのはこのオリオンピック選手のような努力があって初めて報いられるものだと思います。

プロ野球に入団出来たよろこびに甘えて、普通の人のような練習や毎日平々凡々に送っていたのでは人との差は出来てきません。かつて巨人軍の名選手と云われている、長島茂雄、王貞治両選手は監督のものすごい練習とその練習の中のノックにしても他の選手がいやがっても最後までやり続け終わってもまだ練習を期待していたようです。このような根性の持主であったから一軍選手になっても数々の記録を残す選手になったのでしよう。

さて皆さんは本日立派な成人をむかえられました。幸いにも成人になった現在二軍はあります。全員一軍選手です。だから一軍選手としてはずかしくない行動が大切で、そのために本日を記念して将来立派に過ごすための目標をたててください。目標は達成できるものでなければなりません。そして目標に向かって努力することです。くじけそうになった時には、プロ野球の二軍選手と一軍選手を思い浮かべて下さい。



11000年

楽友会に想ひごと

地区社会福祉協議会会長
民生児童委員協議会総務 坂崎文雄

明けましておめでとうございませう

願みれば私たち民生児童委員が「独居老人を対象に食事サービス」と思いついたのが二十年前も昔、或る雑誌に関東地方のある地区で、独居老人の生きがいの問題で『悩める独居老人』の記事が出ていました。記事によれば、話し相手がいなく、寂しさのあまり厭世自殺をする独居老人が続発した。対処に悩んだボランティアの人達が、食事をしてながら悩みを話し合う場を提供すればと実行に移した。するとなごやかな内に唄が出たり日頃の悩みや鬱憤を打ち明けたり等々で話が弾んだという。以後も継続して様子を見ていたら厭世自殺する独居老人が激減していった。効果の偉大さに関係者はおどろいたそうです。

この記事を読んで私は、社協か民協かで真似でもいいから実行してみてもと提案いたしました。残念乍ら二十年前は財源を提供して

くれる所も無く、何回も会を重ねましたが、財源が来るまで当分見送ることになりました。

それから三年経過した頃に市より財源の提供があり早速会議を開催しました。喧々譁々の結果先ずは対象者を七五歳以上の独居老人に絞り、回数は半年乃至一年に一度としました。会場は総合センター大会議室を借り受け、手間は民生児童委員と社協のボランティアを交えた人達と決定し、手探りで発足致しました。初めての事としてテンヤワンの大騒ぎでしたが独居老人の方達も是非継続を、と希望され、大喜びで大盛会の打上げとなりました。

あれから春夏秋冬・二十年が経過しました。現在では対象を年齢六五歳以上に繰り下げ、回数も年に五回と増加して会のネームも食事サービスを楽友会と改称致しました。

これとは別に二月と七月には、寝たきりとか差し支

えが重なって楽友会に出席出来ない会員宅を、軽食を手土産に友愛訪問を実施しております。また食事をしてながらアトラクションとしてカラオケとか年に一度は花扇劇団(西林和男座長)にボランティアで出演をお願いして大好評を得ております。更に主任児童委員と田中保育所長の提案で保育所『年長組』の子どもさんと楽友会員のふれあいの場を持ち、お遊戯とか肩たたきとかを実施して此れも喜ばれております。

今後二〇〇〇年の改善策としては、年に一度試験的に実施しておりました七〇歳以上の老人家庭を常時加え、財源問題がクリア出来た段階で六五歳以上の全老人を繰り下げ対象に加えてご招待申し上げる計画で御座います。

今後とも社協・民協全員真の存在を発揮して計画を実行して行く所存で御座います。不動全町の皆様、私たちの此の計画にご賛同下さいまして、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

不動橋

橋(はし)の話その一

不動地域に生活する私達は南に鮎喰川、北・東は吉野川、西は逆瀬川と囲まれて、どちらへも橋を渡らなければ用達は出来ない。この橋について紹介して見よう。



不動橋

一、不動橋
鮎喰川に架かる鉄筋コンクリート橋。北島田町と結び、主要地方道徳島引田線が通る。長さ三〇〇、九米幅七、五米で、明治四年の名東県布達には貨取橋として架けられていたと云う。

二、飯尾川橋
主要地方道徳島引田線の飯尾川に架かるポストテンション型コンクリート橋で、長さ五七、五米・幅九米の立派な橋だ。



飯尾川橋

「みんな元気いっぱい」

不動保育所

「おはよう」と走りこんでくる子、抱っこされてくる子、お母さんのおしりにかぶりついてくる子、朝のスタイルは様々ですが、五分もすると活動開始です。にぎやかな一日が始まります。

保育所には現在〇才〜六才までの子ども七十六名が生活しています。泣いたり、笑ったり怒ったりと毎日たくさんのドラマがくりひろげられています。それでは各クラスからのコメントを紹介しましょう。

りす組(〇〜一才児)

園庭の木々の葉も落ち冬が駆け足でやってきました。が、その寒さにも負けず、元気いっぱい遊んだり、散歩に出かける乳児たち。ハイハイをしていた子も最近では自分の足でたくさん歩けるようになり、表情もちょっ



り誇らしげです。小学校や公園、土手などに出かけては、子どもなりに季節の変化を体感しているようです。おしゃべりも少しずつ上手になって楽しいやりとりが見られる毎日です。

うさぎ組(二才児)

リズム遊びが大好きで、
「ジャングルポッケ」「忍
者」「ドラネコ」等楽しい
音楽に合わせて体を動かして
います。忍者のポーズも
バッチリ。これがまたかわ
いんです。

でも時々、物の取り合い
などでトラブルが起きてし
まいます。お話をして解決
できる時も少しづつ増えて
きました。叩いたりする
こともしばしば……。けれ
ども私たちは色々なこと
(心や体のいたみ、楽しさ、
悲しみ等)を体験しながら
大きく大きく成長していま
す。あたたかい目で見守っ
ていこうと思います。

きりん組(三才児)

きりん組の子どもたちは
外で体を動かしたり、プロッ
クや粘土で遊ぶのが大好き
です。このごろは友だちの
存在が気になるようで、時
にはぶつかり合ったりする
ことがあります。気の合
う友だちと一緒に遊んでい
る時には最高の笑顔です。
いろんな友だちと触れ合う
中で相手の気持ちに気づい
ていけるようになってほし
いと願っています。



ぞう、らいおん組

(四〜五才児)

いつも元気いっぱいの子
長児のクラスです。寒くて
もへっちゃらで園庭に出て
自転車や一輪車に乗ったり
土山でお団子作りをしてい
ます。室内では折紙やごっ
こ遊びが盛んです。ごっこ
遊びの中で自分の気持ちを
友だちに伝えることの楽し
さや、相手の思いを認めて
受け入れることの大切さを
感じているようです。

もちろん友だちとの衝突
も少なくありませんが、遊
びの中でぶつかり合い、そ
れを自分たちの力で乗り越
えた時、新しい関係が生ま
れているようです。
以上、各クラスからの子
どもたちの様子や保育士の
思いなどでした。



少子化が進み異年齢児が

群れて遊ぶ姿が見られなく
なったと言われて久しいで
すが、幸い、ここでは自然
に年長児が小さい子を混じ
えて遊んでいる姿が見られ
ます。造形あそびひとつを
とっても、小さい子はお兄
ちゃんお姉ちゃんのように
高度なあそびに刺激を受
けて、憧れ、作ってもらっ
て喜んだり、また年長児は
小さい子を思いやったり、
世話をすることで自信をつ
けていきます。

今後ひとりひとりが輝
いて、共に育ち合う仲間作
りができるように心がけ、
夕方おうちの人が迎えにき
て下さった時に「楽しかっ
た」と満足して帰っていか
けるような保育所を作ってい
きたいと思えます。

思いや願いを大切に

不動幼稚園

「がんばれ、とんびさん」

五月の午後、子どもたち
が帰宅した園庭で、羽が傷
ついたとんびに出会った。
翌朝、登園してきた子ど
もたちは、とんびに気付き
「けがしとんで」「かわい
そうに」と心配したり、餌
を食べさせるがとんびには
その力さえも残っていない。
子どもたちから獣医さんで
手当てをしてもらおうとの
声で治療を受け三日間の入
院となった。

やっとなんぼ

やっとなんぼとんびを見
て「よかったなあ、ずっと
ようちえんにおいとこな」
との声が聞かれる。又、少
しでも早く飛べるようにと
毎日園庭を散歩させたりし
て、大切な仲間として受け
入れている。



「がんばって作ったうし」

地域の公園や神社、散歩
によくでかける、田や畑の
様子や風などから季節の変
化に気付いたり、地域の人
と出会ってあいさつを交わ
したりしていい経験をさせ
てもらっている。

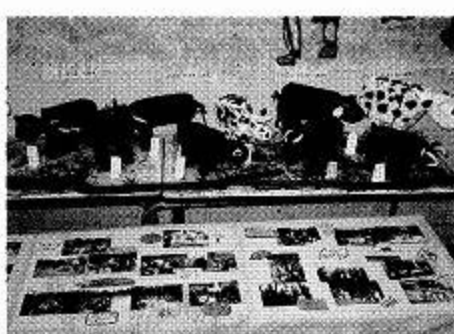
牛の見学や牛作りをする

然であったが、子どもたち
も私たちが早く治って欲し
いとの思いで世話をしたり
接したりしてきた。生き物
に心を寄せ、生命の尊さや
傷みが分かることを経験し
た子どもたちは、相手の立
場に立って考えたり、人の
傷みや悲しみ、喜びなどを
共感できる心やさしい人に
育っていくことを信じてい
る。

十月中旬、牧場に牛を見
に行く機会があった。子ど
もたちは、たくさんの牛や

大きい体に驚いたり、かわ
いいやさしい目やつややか
な毛並に気付いたり、餌を
食べる様子などを自分の目
で確かめることができた。
その後、ハッポースチロー
ルを使って牛を作ってみよ
うということになった。子
どもたちと形・大きさ・目
や角などをどう作ろうかと
共に考えながら、一週間か
けて毎日取り組み完成させ
た。ふるさとカーニバルに
も展示させていただいた。

牛の見学や牛作りをする
ことで地域のすばらしさが
心の中に生きづいたり、頑
張って取り組む中で、根気
強さや完成した喜びを味わ
うことができた。
幼児期に具体的・直接的
体験をする中で、気付き感
じ、試行錯誤しながら取り
組むことが大切だと考えて
これからも子どもたちの生活
を大切にしていきたい。



三世交代交流のつどい

不動小学校

去る十月十九日、本校体育館において「三世交代交流のつどい」が開催されました。今年、国際高齢者年であることから、小学生とその保護者・高齢者が集い、昔の生活や遊びを通して相互理解を深め、子どもも健全育成や高齢者の社会参加を促進するため、徳島市と徳島市老人クラブ連合会の共催で行われたものです。三・四年生と保護者約二十名、老人会から約三十名の方々の参加がありました。

不動寿老会代表の元川号様のあいさつに続いて、市老人会連合会長の小笠清先生(元 不動小学校教員)が、「昔の新居小学校のお話」をわかりやすくしてくださり、子どもたちは、全く知らなかった昔の不便な生活や学校の様子を聞いて驚いていました。

その後、お手玉・竹とんぼ・水鉄砲の三班に分かれて、昔の遊びを教えてもらいました。おばあさんが上手に三つのお手玉をあやつるので、真似をして挑戦してみました。なかなか思



うようにできません。二つ回すのがやっとのようでした。竹とんぼのやり方を教えて飛べしてみましたが、うまく回せなかったり、すぐ床に落ちてしまったりで、高く飛ばすのに苦労をしていました。また、水鉄砲も人気があり、水が遠くへ飛ばたばに歓声をあげ、はしゃいでいました。中には、うまく水が飛ばないものもありましたが、おじいさんに見てもらおうとすぐに直してくれ、よく飛ぶようになっています。この日、使ったお手玉・竹とんぼ・水鉄砲は、全て老人会の方々の手作りによるものです。大変お世話になりました。

子どもたちは、簡単な材

料で手軽に遊べる昔の遊びが、ずいぶん気に入った様子でした。夏祭りやふるさとカーニバルで、こま回しなどの昔の遊びを経験した子もいましたが、初めての体験に感動し、おじいさんやおばあさんが手をとって教えてくれるし、上手に扱うのにびっくりしたようです。

遊びのあとで記念品までいただいたので、子どもたちから「となりのトトロ」と「富士山」を合唱し、お礼の言葉で締めくくりました。二時間があっという間に過ぎてしまい、子どもたちにも感謝を聞くと、「楽しかった。」「もっとやりたかった。」「おじいさんやおばあさんが、すごく優しく教えてくれた。」「昔の人は、遊び道具を自分で作っていたなんて、すごいなあ。」などと感心していました。これから、学校では「総合的な学習の時間」という授業が始まります。これは、教育の中で先生に一方的に教えてもらうのではなく、「自分たちで課題を見つけ、自分たちで解決していく力を身につける」授業です。今年、四年生が「総合センターを調べて」と題し、



その成果をふるさとカーニバルで発表しました。

この「総合的な学習の時間」は、地域の人々のご協力がなくと成り立ちません。昔の遊びも、立派な伝統文化です。これらの遊びを子どもたちに伝えていくことは、大切なことです。今後とも、高齢者の方々だけでなく、町内の皆さんのご協力をお願いいたします。最後になりましたが、参加してくださった不動寿老会及び保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

地域で学ぶ

不動中学校長 濱田忠孜

平成十四年度から、毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が、すべての幼稚園・小学校・中学校・高等学校で一斉に実施されます。土曜日や日曜日を利用して、家庭や地域での豊かな生活体験や自然体験を通して、生きた知恵を学ばせるのが主なねらいです。

休みが多くなる分、学校では授業時間が減ったり二時間くらい少なくなり、学習する内容も精選されて、基礎・基本を確実に身に付けるよう配慮されるようになります。

また、地域や学校、子どもたちの実態に応じて各々が創意工夫をこらし、従来の教科のわくを超えた教育活動を行う「総合的な学習の時間」が新設されました。

本年度、不動中学校は県教委より「新教育課程推進モデル校」の指定を受け、総合的な学習の時間の設立に向け研究を進めています。これによって、本校でこれまで進めてきた同和教育が、子どもたちの手によ

て、より深められ広がられることが期待されます。本校では、総合的な学習を進める上で、地域に根ざした学習を重要視しています。

地域の持つ教育の力を考えてみますと、まず第一に「地域は教室」であるといえます。

不動地域にある様々な施設や自然を教室と見なし、本物に触れながら学習できるかけがえのない学習の場です。

第二に「地域は先生」です。これまで地域の発展に貢献された人を訪ねたり、学校に来ていただいたりして地域の人を先生にして学習させたいと思っています。

子どもたちは、きっと大人の皆さんの様々な生き方から新鮮な驚きを体得してくれることでしょう。

第三に、「地域は教材」です。本校では、これまで多くの地域教材を開発し、学習に役立ててきました。身近な教材で学習することに



より、同和問題学習をより深めるとともに、問題を見つけ、自分の力で考え、問題をよりよく解決していく能力や態度を育てることができました。今後も子どもたちが地域と「共育」していくため地域の教材化を進めていきたいと思っています。

第四に「地域は家族」です。さつき展やふれあい夏祭り、そしてふるさとカーニバルなどの地域行事に参加する中で、多くの人と知り合い、親しくなり、楽しみながらいろいろなことを体験することができました。

また、人々とのふれあいの中で、自分を見つめること、他の人と協調すること、他の人を思いやる温かい心を育むなど、豊かな人間性を身に付けることができました。

今後、総合的な学習を通して、学校から、より積極的に地域行事にかかわっていききたいと思っています。第五は「地域は世界への入り口」です。子どもたちは地域学習で得られた人権感覚をもとに「人権の世紀」ともいわれる二十一世紀に向かって大きくはばたいてくれることでしょう。

本校では、地域に根ざした総合的な学習を通して、自らの想いを、他の人々と共有し、共に手を携えて人権の確立に向かって力強く前進することのできる子どもづくりを目指しています。学校・家庭・地域が一体となった取り組みをより一層進めていくため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

不動中学生の活動記録

- ◎県陸上競技選手権大会
砲丸投(三位)井原亜由実
- ◎市書写コンクール
特選 久米亮輔
特選 久米遼太
特選 仁木博史
特選 大寺彩加
特選 吉本美紀
- ◎市中学校総合体育大会
バドミントン(三位)
- ◎人権作文
最優秀賞 清水祐子
優秀賞 前田真美
- ◎同和問題啓発ポスター
特選 佐藤美咲
特選 清水祐子
特選 武市真実
準特選 仁木希美
準特選 渡辺泰子
準特選 井内智津
入選 大原未来
入選 久次米智美

- 入選 三木佳樹
- 入選 仁木光俊
- 入選 秋山義勝
- ◎通信陸上徳島県大会
棒高跳(六位)出崎将宏
砲丸投(三位)井原亜由実
- ◎市陸上大会
Aブロック 三位
- ◎個人
円盤投(一位)福田健二
砲丸投(一位)井原亜由実
棒高跳(三位)出崎将宏
Aブロック
- ◎市音楽創作コンクール
百M(一位)山内勇氣
百M(三位)田村 彩
八百MR(三位)
- ◎市音楽創作コンクール
三木佳樹 田村彰寿
仁木光俊 福田健二
四百MR(三位)
- ◎市音楽創作コンクール
山内勇氣 川口智史
出崎将宏 市原利浩
四百MR(一位)
- ◎市音楽創作コンクール
木内あき子 高木 蘭
田村 彩 大寺彩加
- ◎MBS子ども音楽コンクール
重奏の部 優秀賞
合奏一の部 優秀賞
(西日本大会出場)
- ◎同和問題意見発表
人権作文の部
最優秀 清水祐子
最優秀 武市真実
最優秀 佐藤美咲
最優秀 清水祐子
- ◎市陸上競技選手権大会

- ◎市音楽創作コンクール
特選 松本千晶
- ◎県創作コンクール
準特選 松本千晶
- ◎県中郡市対抗陸上大会
円盤投(三位)福田健二
砲丸投(三位)井原亜由実
- ◎市科学作品展
入選 井坂有那
- ◎市記念作品展 図画の部
佳作 井内宏美
- ◎市道の日 図画コンクール
特選 久次米宏美
- ◎市明るい選挙啓発ポスター
金賞 山本満代
- ◎県生徒美術作品展
特選 佐藤美咲
特選 武市真実
特選 清水祐子
特選 大寺彩加
- ◎非行防止弁論大会
優秀賞 山本満代
- ◎県中新人陸上競技大会
砲丸投(二位)井原亜由実
- ◎中学生税に関する作文
佳作 佐藤美咲
- ◎市中学校英語リスニング
コンテスト
優秀賞 下塚潤一
優良賞 佐藤美咲
- ◎県中学校英語リスニング
コンテスト
優良賞 下塚潤一
優良賞 佐藤美咲
- ◎炎天寺一茶まつり全国小
中俳句大会

- ◎青少年読書感想文コンクール
入選 清水祐子
県入選 井内智津

成人おめでとう

平成十一年度

- ◎女子
- 仁木比奈子 仁木 春奈
 - 谷本 史子 佐藤 千尋
 - 作本 由佳 赤澤 史恵
 - 山本 渚 高橋 弘実
 - 日野 和美 中野 純子
 - 藤井 恵美 大寺 悦美
 - 吉本 梨佳 吉本 由佳
 - 森本 美紀 草薙 明子
 - 松原希実子 森井 雅代
 - 島 優香 江西多美子
 - 大本笑美子 森本多英子

- ◎男子
- 横山 和茂 林 和彦
 - 松本 大輔 折野 雅幸
 - 茨木 昭二 久次米英治
 - 土井 直樹 大本 敬一
 - 井原 満 西林 信吾
 - 住野 雅英 笠井 将福
 - 有米 武志 下塚 恭史
 - 藤田 裕介 宮城 隼人
 - 鐘 海亭 王 瑞尨
 - 久次米貴祥 永井 和宏
- 計 四十二名

**鮎喰川左岸
堤防除草作業**

不動町年末の恒例行事となった堤防美化作業が実施された。

十一月三十日(火)から十二月五日(日)までの間に、お年寄りから子どもまで延べ二百三十人が取り組んだ。最終日は曇天となったが、雨に降られることもなく予定通り完了することができた。

三十日(火)は不動小学校五・六年児童が学習会終了後から元氣いっぱい、捨てられていた空き缶・ビン類を拾い集めた。

二日(金)は不動中学校生徒全員が町の美化のために汗を流した。今回は、ポイ捨て防止を呼びかける立て看板を生徒会が作成し、六か所に設置した。ドライ



バーのマネー向上に一役買
うものとして、その効果に
期待が寄せられている。



四日(土)、五日(日)
は町内各種団体の総力をあ
げての清掃奉仕日となった。
不動橋北詰めより徳工グ
ラウンド付近まで半日で能
率をあげ、日曜日は旧弁天
橋北詰めまで、文字通り草
とゴミとの戦いで日没まで

「ピカリ作戦」

不 動 交 通 安 全 協 会 で は、
十一月二十五日夜、徳島西
署の協力を得て「ピカリ作
戦」を実施した。
「ピカリ作戦」とは不動東
町五丁目の四国三郎橋南詰
めで、散歩中の人たちに反
射たすきを配ったことであ
る。弁天橋から四国三郎橋

参加者の努力は続いた。不
動消防分団も分団長以下、
交代で焼却処分にあたり、
その奉仕ぶりが多くの人た
ちから感謝されていた。
参加者の願いとしては、
「美しくなった不動の堤防
や道路を、みんなのもの
としていつまでも美しいま
まに保っておきたい」とい
うことだった。



にかけてのコースは散歩愛
好家に好評で、不動町内は
もろろのこと春日、矢三、
島田方面からの人もたくさ
ん利用している。そのため
かはじめ用意していた五十
本はたちまちのうちに品切
れとなり、追加のぶんを合
わせ、百三十人余の人たち
が受け取っていた。

最近健康のために夜間、
散歩する人が増加している

第9回徳島市 「ミニニティまつり」

平成十一年十月三日(日)、
沖洲コミュニティセンター
でミニニティまつりが開
催されました。

開会式が終わると、「健
康ウォーク大会」が始まり
ました。沖洲コミュニティ
センターからマリニピア沖
洲をぐるりと周る約五キロ
のコースを自分のペースで
歩くものです。この日は少
し気温が低く、小雨もパラ
ついていましたが、お年寄
りから子供までたくさん
の人が参加していました。
外の広場では、即売会が
開かれており、市内各地の
特産品、手作り食品、作品
などを紹介し、販売してい



が、事故を未然に防ぐため
にも反射たすきを着用する
ことは望ましいことだ。

ました。
お昼からは、演芸大会が
始まり、各地区からこの日
のために練習してきた歌や
踊りを披露してくれました。
演芸終了後、豪華景品が
当たる抽選会が開かれまし
たが、残念ながら今回不動
町から参加した人には当た
らなかつたようですが、と
ても楽しく内容のこい一日
を過ごすことができました。

徳島市公民館大会

十一月八日
郷土文化会館

表彰者
高齢者教室 樋口静代
女性学級 木内喜美子
不動町からの五十二人を
含む約五百人の参加があっ
た。岸岡俊憲会長の挨拶の
あと、表彰式では永年にわ
たり公民館の運営に貢献の
あった方々に賞状が送られ、
不動町から右の二名の方が
表彰された。

学習発表会では、各公民
館代表によるコーラスや舞
踊、寸劇などが披露され、
不動からは「ダンス出演」
があった。佐野紀代表など
十五人のダンサーが「そ
よ風と私」と「チャッチャッ
チャは素晴らしい」の二曲
に合わせて熱演し観覧者に
喜ばれた。

交通安全キャンペーン

徳島西署員と不 動 交 通 安
全自治会(岡田高明会長
六十二人)の会員は、十二
月十六日、四国三郎橋南詰
めで交通安全キャンペーン
を実施した。

晴天下の午前中とあって
自動車の流れも順調であっ
たが、ドライバーにみかん
やチラシを配って安全運転
励行を呼びかけた。



県公連 職員現地研修会

研修会は十一月十九日、
脇町劇場(オデオン座)で
開催された。

人と人とのつながりを大
切にしながらの生涯学習の
推進や職員のあり方につ
いて研究協議するのが趣旨で
あった。不動からも公民館
長、分館長、主事が全員参
加して、「学び・交流・活
力あふれる町づくり」につ
いて終日研修に励んだ。



うだつの町並み(南町)

藩政時代に城下町として栄え
た南町には、瓦ぶき、塗り込め
壁の重厚な表構えに「卯建」と
呼ばれる火よけ壁をつけた古い
家並みが建ち並び、国の重要伝
統的建造物群保存地区に選定さ
れている。